

令和2年第7回臨時会

# 江東区教育委員会会議録

令和2年8月14日（金）

江東区教育委員会

## 令和2年第7回江東区教育委員会臨時会会議録

- 1 開会年月日 令和2年8月14日（金）午前10時00分
- 2 閉会年月日 令和2年8月14日（金）午前11時43分
- 3 開会場所 江東区教育センター（大研修室）
- 4 出席委員 本多健一朗（教育長）、橋本俊雄（教育長職務代理者）、  
進藤孝、眞貝裕利子、鈴木清人
- 5 出席職員 武越教育委員会事務局次長、  
池田庶務課長、半田学校施設課長、太田整備担当課長、  
大町学務課長、伊藤指導室長（教育センター連絡調整担当課長兼務）、  
堀越教育支援課長（教育センター所長兼務）、  
河野地域教育課長、栗原江東図書館長、佐久間主任指導主事

### 6 報告事項

- (1) 令和3年度新1・7年生の学校選択制度の取り扱いについて
- (2) 令和3年度新1・7年生の学校選択制度に伴う受入れ予定人数について
- (3) 令和3年度区立幼稚園の園児募集について

### 7 協議事項

- (1) 令和3年度中学校教科用図書採択について

### 8 審議概要

本多教育長 ただいまより、令和2年第7回江東区教育委員会臨時会を開会いたします。

本日の会議について、傍聴したい旨、46名の申出がありました。江東区教育委員会傍聴規則第3条では、傍聴人の定員は5名と定められているところでありますけれども、同規則第9条に基づき、本日の会議については定員を20名といたします。江東区教育委員会傍聴規則により、傍聴を認めますので、事務局は速やかに傍聴人を入室させてください。

（傍聴人入室）

本多教育長 傍聴人の方におしよ申上げます。教育委員会の規則では、傍聴人は5名と定められているところでありますけれども、本日に限りまして、会場内のソーシャルディスタンスを確保した上で、定員を20名とさせていただきます。教育委員会では、教科書採択の議論を静謐な環境の下で行いたいと思いますので、どうぞ、皆さんの御協力をお願いしたいと思います。

また、本日は、委員、私も含め、マスクを着用して協議をさせていただきます。皆さんに声が届きますようにマイクを使わせていただきますが、御了解いただければと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

本日の会議録署名委員を御指名いたします。眞貝委員、鈴木委員にお願いします。

それでは、審議に入ります。

議事進行上の関係から、初めに協議事項1、令和3年度中学校教科用図書採択についてを議題といたします。

なお、審議に入る前の確認事項といたしまして、今回の教科書の採択に係る公正な選定、採択手続を期するために、本委員会の教科書採択の資料及び会議録については採択が終了した後に情報公開に付すことといたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、本案について事務局より説明願います。

伊藤指導室長 それでは、本日の教科書採択の流れについて御説明いたします。

今回の教科書採択では、令和3年度から6年度の4年間、中学校等で使用する教科書について御協議いただき、採択していただくこととなります。

資料1、中学校教科用図書教科別発行者一覧を御覧ください。今回の採択対象となる教科書発行者を資料に示してあります。丸印のついております発行者が採択対象となっており、二重丸をつけている発行者は現在使用されている教科書の出版社でございます。

ここに示された採択対象となる全ての教科書についての詳細な研究と採択資料作成委員会での審議の結果をまとめて教育委員会に提出されたものが、資料2、江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会 結果報告書でございます。教科書の種類ごとに1枚にまとめられております。後ほど、主任指導主事から、内容について御説明を申し上げます。

この採択資料作成委員会 結果報告書の基になった資料が、資料3、教科書調査研究資料（中学校）、資料4、編修趣意書、資料5、江東区立学校教科用図書調査研究結果の3点でございます。

資料3、教科書調査研究資料（中学校）には、東京都で行われました調査研究内容がまとめられております。

資料4、編修趣意書は、新しい教科書の編修の趣意について、各発行者が記述したものを収録したものでございます。

資料5、江東区立学校教科用図書調査研究結果は、教科発行者ごとに、本区の調査部会の委員が、5月の中旬から6月の下旬にかけて詳細な調査研究を行い、その結果をまとめたものでございます。

続いて資料6、令和2年度教科書展示会来場者集計表についてです。

本区では、教科書展示会を6月1日から6月28日まで、江東区の教科書センターで開催いたしまして、123名の参加がございました。内訳といたしましては、区民一般の方々が113名、教員が10名となっております。また、6月8日から6月26日まで、区立学校4校、深川第二中学校、第三亀戸中学校、第四砂町中学校、有明西学園で、区立学校教員を対象に展示会を実施し、近隣校の教員が参加するなどしました。さらに6月20日から6月24日まで、豊洲図書館、深川図書館、砂町図書館で展示会を実施しております。

ここで頂きました、区民一般の方の意見をまとめたものが、資料7、教科書展示会で寄せられた意見などについて（一般）、資料8、教科書展示会で寄せられた意見などについて（区立学校教員）でございます。

本日は、国語、書写、社会（地理的分野）、地図、美術、保健体育、外国語（英語）、特別の教科道徳の6教科8分野について御協議いただき、次回は社会（歴史的分野）、社会（公民的分野）、数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、技術分野、家庭分野の5教科8分野について御協議いただきます。

これより主任指導主事が、資料2、江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会 結果報告書により報告をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

なお、本日は教科書の見本も用意されておりますので、併せて御覧いただきたいと存じます。よろしく願いします。

本多教育長 説明にありましたけれども、本日は、国語、書写、社会（地理的分野）、地図、美術、保健体育、外国語（英語）、特別の教科道徳の6教科8分野について御協議いただき、その他のものは次回の教育委員会で協議することといたします。

それでは、国語の結果報告について御説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会 結果報告書を御覧ください。

教科等、国語です。

発行者、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書出版。

内容の選択。

1点目、東京書籍は、巻末の長編に「学びを支える言葉の力」というページがあり、論理的思考力を高める学習ができるようになっている。

2点目、三省堂は、読むことの教材に「学びを広げる」という学習のステップを示しており、学んだことを生かせるようにしている。

3点目、教育出版は、「学びチャレンジ」として、身につけた知識・技能を活用して、思考力、判断力、表現力を高める問題が掲載されている。

4点目、光村図書出版は、学習したことについて、理解の観点と活用の観点から、それぞれ自分の言葉で振り返ることができるようにしている。

構成・分量4点、表記・表現4点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮5点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、国語スタンダードについて、2点目、俳句教育について、3点目、主体的・対話的で深い学びについて、4点目、生徒の学びやすさについて、5点目、教員の指導のしやすさについてなどとなっております。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、国語について御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

橋本委員 本区では、「どの子も伸びる 学びのまち 江東」というキャッチフレーズがございます。こうとう学びスタンダードについて、国語もスタンダードが示されています。昨年度からスタートした国語スタンダードの指導のポイントなど、どうなっていますでしょうか。教えてください。

伊藤指導室長 国語の学習では、主に「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域について、言語活動を通して実施する能力を身につけることとなっております。そのため、どのような活動を通して、どのような資質・能力を身につけるのか、生徒に自覚させることがとても大切となってきます。

具体的な指導場面では、生徒に授業の初めに学習の見通しをもたせませす。そして、その時間に身につけさせたい事項を対話的な学習等としまして学ばせ、最後に自らの学びを振り返らせる、といった学習が一例となります。

本多教育長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。

橋本委員 はい。

本多教育長 ほか、いかがでしょうか。

進藤委員 そうすると、生徒は学習の見通しを持って授業に取り組むことが非常に大切なこととなってくるわけです。この視点で各社の巻頭のページを見比べてみますと、各社とも目次の後に、この1年間で学習する内容が一覧となって示されております。

その中でも、東京書籍の1年の教科書には小学校で学んだことが掲載

されていて、小学校から中学校への学びの連続性を意識した作りとなっています。

また、光村図書出版の1年の教科書を見ると、折り込みページを使うことで1年間の学習内容を一目で見渡すことができる工夫をしているかと思います。

本多教育長      ありがとうございます。  
ほかにいかがでしょうか。

鈴木委員      1年生の教科書を見ると、『少年の日の思い出』という教材が、各社、掲載されています。学習の見通しという点で、この各社の学習ページを比べてみますと、三省堂と光村図書出版は、文章の前に目標が示された上で、文章の後の学習課題が示されているページにも目標が示されています。文章を読む前に目標を確認することで、何のために読むのか、学習の見通しを持つことができます。そして、その文章を読んだ後で、改めて目標を確認した上で、学習課題に取り組めるようになっているのではないのでしょうか。

本多教育長      ありがとうございます。今、学習の見通しという観点のお話を頂いているところです。  
ほかにいかがでしょうか。

眞貝委員      私も鈴木委員の御発言にありました『少年の日の思い出』が学習課題で示されているページのところですが、東京書籍、三省堂、光村図書出版が、見開きで目標から振り返りまで課題が示されていて、とても見やすいと思います。  
また、三省堂は、内容を整理する、読みを深める、自分の考えを深める、光村図書出版は、捉える、読み深める、考えをもつという3段階の学習ステップを示しているのです、より学習は深めていくことができるのではないのでしょうか。教える側も学ぶ側も使いやすいのではないかと思います。

本多教育長      ありがとうございました。使いやすさということでございました。  
ほかにいかがでしょうか。

橋本委員      2年生の教科書なんですけれども、各社とも『走れメロス』が掲載されています。授業でどのようなことを学んだか振り返る。この振り返り方というんですか、振り返りも、各社、かなり違いが、細かく見るとあります。  
東京書籍、三省堂、光村図書出版は、自分の言葉で振り返るようにし

て、特に光村図書出版は、採択資料作成委員会の審議結果報告書にもあるんですが、学習した内容についての観点と、学習したことをほかの学習や生活に生かせるような2つの観点、これを具体的に示していますので、生徒はこの学習でどのような力が身についたのか、かなり自覚できるんじゃないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。ここまで見通し、それから使いやすさ、学びやすさ、そういったことについて御意見を頂いているんですが、ほかの視点とかで、いかがでしょうか。

進藤委員 我が江東区は松尾芭蕉ゆかりの地でもありまして、俳句教育に力を入れております。国語スタンダードにも「季節を感じ、俳句に親しみます」という項目があります。

教育出版は、各学年に四季のたよりというページがあり、季節を感じさせる俳句が写真とともに掲載されております。

光村図書出版も、各学年に季節のしおりというページがあり、季節を感じる言葉とともに俳句等が掲載されております。これはいいことではないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。  
ほかにいかがでしょうか。

眞貝委員 俳句教育ということで申しますと、各社とも3年の教科書に松尾芭蕉の『奥の細道』が掲載されております。この中には、松尾の旅の地図が載っているのですけれども、ほかの3社が出発点を「江戸」と表記しているのに対して、光村図書出版、156ページには、出発地点を「深川」と表記しております。細かい違いではありますが、江東区で学習している子どもたちに、深川を出発したということをしちんと学んでほしいと思いました。

また、同じ3年の教科書に、俳句に親しむ学習がありますけれども、光村図書出版の74ページには、江東区由来の俳人である石田波郷の句も掲載されております。この点でも、江東区の俳句教育と関連づけて学習させることができると思いました。

本多教育長 ありがとうございます。俳句について、今、幾つか御意見頂きましたけれども、本区で大事にしているところですし、今の視点もとても大事だと思います。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの皆さんの御意見を伺っておりますと、国語につ

いては光村図書出版が適しているのではないかなというふうに思いますけれども、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

学習の見通しを持つ工夫があること、生徒が学びやすい教科書の構成になっていること、俳句教育との関連を図りやすいこと、以上3つの理由により、光村図書出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、国語については光村図書出版を採択することといたします。それでは、国語についての協議を終わりいたします。それでは、続きまして、書写について御協議いただきたいと思います。書写の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、書写の結果報告書を御覧ください。

教科等、書写。

発行者、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書出版でございます。

内容の選択。

1点目、東京書籍は、学習した内容を硬筆に生かす活動がある。作品の作り方だけでなく、下書きの作り方のポイントも示している。

2点目、三省堂は、硬筆だけでなく毛筆で書く際の姿勢や鉛筆の持ち方を写真で示しながら丁寧に進めている。

3点目、教育出版は、1年生の最初の学習として、学習内容、効果的にノートに書こうというノートの書き方に関する学習が設定されている。

4点目、光村図書出版は、巻頭に取り外して硬筆練習帳として活用できる書写ブックがあり、毛筆で学習した内容を硬筆に生かすことができる。

そのほか、構成・分量4点、表記・表現4点、使用上の便宜3点、各学校の特色のある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮4点となっています。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、運筆について、3点目、生徒の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、資料の使いやすさについてなどとなっております。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、書写について御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

進藤委員 私は巻頭のページを見比べておりますが、各社とも、書写の時間に学

ぶことや学習の進め方が書かれたページがあります。どの教科書も見通しを持って学習が進められそうです。

中でも教育出版の10ページには、大きな木のイラストで身につける力などを示していて、非常にイメージが持ちやすいような気がいたします。

本多教育長 ありがとうございます。  
ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員 東京書籍には、書写の鍵として、学習のキーワード、20ページには配列の整え方として、5つの項目が示されております。

光村図書出版にも、学習の窓として、同様にキーワードが示されております。46ページには、文字の大きさと配列として、ポイントが示されています。

三省堂は、書き方を学ぼうとして、キーワードが示されておまして、28ページには、文字の大きさと配列、図をまとめて示しています。ここを見れば学習のキーワードが一目で分かるので、生徒にとっては学びやすいのではないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。学びやすさということですね。どうでしょう。この点について御意見頂きたいと思いますが、いかがでしょうか。

橋本委員 私は大きさをちょっと見ているんですが、生徒の学びやすさという点でいいますと、大きさにも違いがあるかなと思います。東京書籍、教育出版はA B判、三省堂、光村図書出版はB 5判でございます。書写の時間は教科書だけではなく、習字道具とか、いろんなものが机に乗ってきますので、大き過ぎないほうが使いやすいのではないかなと思っております。

本多教育長 ありがとうございます。今、体裁のこと、大きさについて御意見頂きました。見やすさということになるかと思えますけれども。  
ほかの視点等でいかがでしょうか。

眞貝委員 私は基本的な筆遣いを学ぶことが、とても大切だと考えております。  
東京書籍の2ページは、基本的な点画の書き方について、トン、スー、ピタという擬音を交えて説明していて、分かりやすいと思います。  
光村図書出版の41ページに、トン、スー、トンと擬音を交えて説明しています。力加減を感覚的に理解するには、とてもよいのではないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。確かに、それぞれ擬音が入っていると分かりやすいかなと思います。

そのほか、いかがでしょうか。

進藤委員 そうですね。学習したことを日常生活に生かすという観点から考えると、毛筆で学習したことを硬筆に生かしていく学習が重要ではないかと思います。どの発行者も、学習したことを日常生活に生かす工夫がされているようです。

その中でも光村図書出版は、取り外して硬筆練習帳として活用できる書写ブックが付録されております。ほかの3社にも、教科書に直接書き込んで練習できるページがあるのですが、この書写ブックは取り外して使用できるので、毛筆の学習ページを開きながら学習したり、家庭学習で活用したりすることが考えられます。とても、なかなか使いやすいのではないのでしょうか。

本多教育長 ありがとうございます。中に書写ブックがありますね。

ほかはいかがでしょうか。

橋本委員 光村図書出版の教科書には季節のしおりというページがありますね。64ページですね。先ほど国語の教科書採択でも話題になりましたけれども、国語スタンダードには「季節を感じ、俳句に親しみます」という項目があります。書写の学習の中でも、季節を感じる学習が設定されているのは、とてもいいことだと思います。

本多教育長 はい、ありがとうございます。季節のしおりのことですね。俳句を取り上げてあります。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 これまでの皆さんの御意見を伺っておりますと、書写については光村図書出版が適しているのではないかと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

生徒が学びやすい教科書になっていること、基礎基本が習得しやすいこと、毛筆で学習したことを硬筆に生かす学習を図りやすいこと、以上3つの理由により、光村図書出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、書写については光村図書出版を採択することといたします。

続いて、社会(地理的分野)のほうに進めていきたいと思います。

それでは、社会（地理的分野）の結果報告について、説明をお願いいたします。

佐久間主任指導主事      それでは、資料2、社会（地理的分野）の結果報告書を御覧ください。  
教科等、社会（地理的分野）。  
発行者、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4社です。  
内容の選択。  
1点目、東京書籍は、単元末のまとめの活動や基礎的・基本的な技能を身につけるためのスキルアップ、発達段階に応じた内容解決に生かしている。  
2点目、教育出版は、単元末にある学習のまとめと表現では、学習してきた言葉の確認、言葉で説明する、表現しよう、互いに話し合い意見を交換しようを設けています。  
3点目、帝国書院では、単元末の基礎的・基本的な知識を確認するための学んだことを確かめようには、用語解説や地図中の空欄に国名や自然地名、キーワードを入れさせる問題が取り上げられている。  
4点目、日本文教出版は、13項目ある自由研究コーナーでは、生徒が主体的に学習を進められるよう、学習内容の理解を助けるための地理的な話題を取り上げている。  
なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、社会科の見方、考え方や学習の進め方について、2点目、生徒の使いやすさについて、3点目、教員の指導のしやすさについて、4点目、江東区に関わることについてなどとなっております。

本多教育長              ありがとうございます。  
それでは、社会（地理的分野）について御協議いただきたいと思えます。いかがでしょうか。

橋本委員                今回の結果報告書にもございましたけれども、グラフや表、写真、絵や図など、資料が豊富であることも、とても重要だと思います。  
地理の学習は、大半は生徒たちがまだ行ったことのない世界の国々や日本の地理の学習をするわけなので、その概要を把握する点からも、資料の充実は、とても重要だと思います。  
各社、見比べていますが、どの教科書も写真や地図など、資料の扱いにとっても工夫があり、生徒が興味・関心を持って学べるよう配慮されていると思えました。

本多教育長              ありがとうございます。  
ほか、いかがでしょうか。

眞 貝 委 員 橋本委員おっしゃるとおり、確かにどの教科書も写真や地図など資料の扱いに工夫があり、生徒が興味・関心を持って学べるように配慮されております。

本区の中学生の代表は、短期留学でカナダに毎年行っておりますけれども、各社の北アメリカ州の自然環境を学ぶページを見ますと、各社とも北アメリカ州のイメージが、学習への興味・関心を高めるために有効な資料が掲載されております。中でも日本文教出版は、地図の数が多く、地形、人口密度、民族分布の3つの視点から掲載しております。

そして、帝国書院は、防災という観点からトルネードについてのコラムが載っています。持続可能な社会をつくるための参考になる文章で良い資料だと思っております。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。  
ほか、いかがでしょうか。

橋 本 委 員 日本周辺の地域であるアジア州の、学習の初めに掲載されているページを全て見比べていますが、各社とも地域に関する写真を豊富に掲載しており、それぞれこれから学習する地域に対して、興味・関心が湧く工夫がかなりされていると思います。

例えば、アジアの急速な発展の象徴とも言える上海の様子、写真が各社出ておりますが、東京書籍、帝国書院、日本文教出版の3社に掲載されておりますが、帝国書院の48ページを見てみますと、かなり説明が丁寧に行われているという感覚が見て分かると思います。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。我々大人は、ある程度イメージができますけれども、こうやって写真が効果的に出ているというのは、行ったことがない子どもたちにとって非常に分かりやすいというのは確かにあるかなと思います。

今のところ、興味・関心を高めるというような視点での話を頂いているところですが、ほか、いかがでしょうか。

鈴 木 委 員 例えば、地図であったり、様々なグラフや表であったり、そういった資料の使い方や読み解き方など、基礎的な技能を身につけさせることが、地理の学習では、とても重要だと思っております。

気温と降水量をグラフで示しました、いわゆる雨温図の読み解き方を掲載しているページについて、各社を比べてみました。特に教育出版と帝国書院の2社は内容が充実していると思います。教育出版は3つのグラフを示し、説明の文章が丁寧です。帝国書院も説明の文章が詳しいですし、雨温図の数が10本掲載されているので、先生方が工夫して活用できそうだと思います。

本多教育長 ありがとうございます。雨温図、確かに比べてみると、それぞれ違いがあるかと思います。  
ほか、いかがでしょうか。

眞貝委員 東京都や江東区の記載についてお話しさせていただきます。  
各社を見てみますと、関東地方の学習に全ての教科書で東京を取り上げており、世界と結びつく東京の特徴や、東京大都市圏過密問題など、幅広く学習できるようになっております。  
また、東京書籍は244ページに、オリンピック・パラリンピックと東京というテーマで掲載されております。  
江東区についての記載ですけれども、結果報告書の中にもありましたが、教育出版の242ページに南砂町駅の写真、そして帝国書院245ページと日本文教出版227ページには、人口が増え続けている湾岸地域として本区の写真が掲載されております。  
先ほど橋本委員がおっしゃってありましたように、帝国書院は写真の説明の文章は詳しいと感じております。

本多教育長 ありがとうございます。江東区、東京都の記載について、今、お話を頂いたところです。こどもたちにとっては、教科書に自分たちの身近な地域が載っていると学びやすいということがあるかもしれません。  
ほかに、いかがでしょうか。

進藤委員 私は日本の領域、領土に関する問題についての表記について、各社、見比べてみました。各社、写真や地図などの資料を豊富に使って分かりやすくまとめております。  
帝国書院は、18から21ページの日本の領域とその特色は、写真、資料とともに文章でも詳しく書かれております。また、国際法について詳細に解説文が掲載されてあったり、ページ番号の横には、小学校の学習、歴史的分野、公民的分野との関連について掲載されていたりするなど、より広い視野で学べるような工夫がされていると思います。

本多教育長 ありがとうございます。皆さんから、いろいろな御意見を頂いているところです。  
ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。  
(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 皆さんのこれまでの御意見を伺っておりますと、社会(地理的分野)については帝国書院が適しているのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。  
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 よろしいでしょうか。

それでは、これまでの意見を整理いたします。

生徒が興味・関心を持って学べること、資料活用の内容が充実していること、江東区に関する記載に工夫が見られること、我が国の領土と領域に関する記載に工夫があること、以上4つの理由により帝国書院を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 御異議ございませんので、社会(地理的分野)につきましては帝国書院を採択することといたします。

それでは、続きまして、地図に入っていきますので、御準備をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、地図の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、地図の結果報告書を御覧ください。

教科等、地図。

発行者、東京書籍、帝国書院の2社です。

内容の選択。

1点目、東京書籍は、この地図帳の地図記号を広げた状態で一般図を見ると、凡例を確認しながら地図を読み取ることができる。

2点目、東京書籍は、各資料図のページにジャンプコーナーを設け、関連する資料ページや内容を示している。

3点目、帝国書院は、地図帳の使い方、地図帳の構成と地域の特色を捉えるための基本的な使い方を具体的に解説している。

4点目、帝国書院は、各資料図のページには学習課題が設定され、資料を見るときに着目点が示されている。

そのほか、構成・分量4点、表記・表現5点、使用上の便宜6点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮4点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教科書の大きさなどの体裁について、2点目、地図帳の活用方法について、3点目、生徒の使いやすさについて、4点目、教員の指導しやすさについて、5点目、江東区に関わることについてなどとなっております。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

それでは、地図について御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

鈴 木 委 員 私は、東京書籍、帝国書院、両者とも巻頭のページを見比べております。世界全図を横長にして示しているページです。両社とも紙面上部に

日本標準時を12時としたときの時差を時計で示しています。生徒たちが、例えば、時差の計算をする際などに分かりやすいと思います。1時間ごとに掲載されているのが帝国書院です。

また、帝国書院は、紙面下の部分に、同じ時間帯であることを示した等時帯やヨーロッパ中心の面積が正しい地図、東京からの距離と包囲が正しい地図など、様々な世界全図を掲載しています。いろんな角度から世界を知ることができるのではないかと思います。

本多教育長      ありがとうございます。  
ほか、いかがでしょうか。

進藤委員      私は東京書籍の180ページを見ているんですけども、字は小さいんですけど、私が感心したのは、東京書籍のこの日本の地名の索引に、「まち」だとか、「ちょう」だとか、「むら」だとか、「そん」まで分かるように平仮名表記をつけているものです。日本には町や村がたくさんありますが、「まち」と読むのか「ちょう」と読むのかは正式名称を教えてもらわないとなかなか分かりません。日本の中で朝日という町は3か所あるのですが、三重県にあるのは「あさひちょう」、山形県と富山県にあるのは「あさひまち」という読み方があります。こういった読み方がページごとに学べるのではないかと思います。生徒が自ら学びを進める上でも、この索引のページは評価できると思います。

本多教育長      ありがとうございます。我々の身近にも東陽町と南砂町というものもありますね。  
ほか、いかがでしょうか。

橋本委員      東京書籍、33、34ページ、帝国書院、23、24ページを、皆さん、見ていただけますでしょうか。東アジア全域を掲載している地図のページです。

北京周辺の部分を見えていますけれども、両社とも、例えば、万里の長城、蘆溝橋事件など、歴史的分野で扱うような記載が、ちょっと小さいんですけども、工夫が見られております。

経線の示し方についてですが、東京書籍が10度間隔であるのに対し、帝国書院は5度間隔です。日本標準時の子午線がある東経135度も示されております。

また、帝国書院、右下に地図活用コーナーという形でも、分かりやすく、地図から分かることを整理したり説明したりする工夫が見られています。地図全体ということは、かなり、見たときに、ぱっと見たときにいいなと思う感じが一番大切だと思い取り上げました。

本多教育長 ありがとうございます。歴史上の事件等々の記載の件ですが、確かに地図は、社会科、地理だけじゃなくて、歴史の学習との関連、そういったことも大事かと思います。

ほか、いかがでしょうか。

眞貝委員 東京書籍、帝国書院の、東京中心図のページを見比べてみましたけれども、両社ともに125ページに見開きで掲載されています。

私が注目したのは、帝国書院の124ページです。水と人の関わり、防災の観点から掲載されている点です。

江東区の箇所をこの資料で見ますと、全体的に緑色で示されていますけれども、これは海面ゼロメートル地帯、そして海拔マイナス地帯であることを示しております。生徒が江東区のことについて理解を深められるような資料だと思います。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員 江東区に関する記載についてですが、東京書籍の132ページ、帝国書院の129ページを見ております。

東京書籍は、1ページにわたって、オリンピック・パラリンピックの特集ページを掲載しています。会場予定地を赤丸印で示しているのので、江東区でたくさん実施されるのが一目で分かります。

一方、帝国書院129ページの下には、豊洲地区、有明地区を中心とした臨海部を鳥瞰図で掲載しています。会場の予定地も黄色で示されていて、鳥瞰図のため、その土地の地形や特徴がイメージしやすく、とても分かりやすいと思います。

本多教育長 ありがとうございます。実際に、こどもたちも、自分たちが知っているところを探すことができるかもしれませんね。

ほか、いかがでしょうか。

進藤委員 地理の部分も、日本の領域、領土について触れましたが、どこまでが我が国の領土なのかということについて、生徒たちには正しく理解してほしいと、いつも思っております。

2社を比較しましたが、日本の周辺について示した地図で、日本の領土を正しく表記していると思っておりますので、なかなかいいなと思います。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

橋 本 委 員 進藤委員のおっしゃるとおりだと思っております。

東京書籍は190、191ページに写真の説明が、帝国書院は78ページから82ページ、写真入りで、そして187ページ、188ページには、領土、領海、領空が大きく掲載されています。どちらの会社も日本の領土について分かりやすい地図で、日本全体の部分が1ページに収められています。

とりわけ帝国書院のほうが、日本全体の領土を示す欄が大きく、色遣いが分かりやすいのかなと思っております。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。1ページで全部見渡せるというのは良いと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 皆さんのこれまでの御意見を伺っておりますと、地図につきましては帝国書院が適しているのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

主体的に学習に取り組むことができること、江東区に関する記載が充実していること、我が国の領域・領土に関する記載に工夫があること、以上3つの理由により帝国書院を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 ありがとうございます。御異議ございませんので、地図については帝国書院を採択することといたします。

続いて美術となりますので、準備のほど、お願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、美術の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、美術の結果報告書を御覧ください。

教科等、美術。

発行者、開隆堂出版、光村図書出版、日本文教出版の3社です。

内容の選択。

1点目、開隆堂出版は、作者の言葉や学習のポイントで生徒の作品に対する興味を深めたり、活動や構想のヒントを示したりすることで、主体的な学びを促している。

2点目、光村図書出版は、表現と鑑賞を一体的に学べる内容とし、生徒同士の対話が生まれるような問いや発想を広げる具体的な手だてを示すことで生徒の主体的な学びを促している。

3点目、日本文教出版は、主体的な学びを促す工夫として、各ページの造形的な視点で、生徒への問いかけを行ったり、キャリア教育に関する題材を扱ったりしている。

4点目、開隆堂出版、日本文教出版は、学習の目当てについてマークと文章で示している。

5点目、光村図書出版は、学習の目当てについて文章で示している。

そのほか、構成・分量4点、表記・表現3点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮1点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、鑑賞の題材等について、2点目、安全面の配慮について、3点目、生徒の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについてなどとなっております。

本多教育長      ありがとうございます。  
                    それでは、美術について御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

眞貝委員      私は1年の教科書の人のしぐさや動きについて学習するページを比較して見ておりました。

開隆堂出版、光村図書出版ともに16ページ、日本文教出版が18ページにありますけれども、各社とも学習の目当てが記載されていて、この単元で何を学ぶのか明確に示されております。

開隆堂出版、日本文教出版は、目当てについて、マークとともに色を変え記載してあり、とても分かりやすいと思いました。また、各社とも生徒の造形活動のヒントになるような記載も見られます。

開隆堂出版は学習のポイント、日本文教出版は造形的な視点、光村図書出版は鑑賞・表現というマークでそれぞれ示されておりますけれども、開隆堂出版、日本文教出版は、ほかに掲載されている資料に関する説明に、文字が大きく、色分けされているので、生徒もとても意識しやすいと思います。

本多教育長      ありがとうございます。  
                    ほか、いかがでしょうか。

橋本委員      今の眞貝委員がお話しされたページを見ておりますけれども、どこの発行者も、作品とともに作者の言葉としての作者の作品に対する思いについて記載が見られます。特に生徒作品に記載されている内容を見ますと、同じ中学生がどのような思いで制作しているかを知ることができて、また、自己の活動を創作活動に生かせると思います。

日本文教出版は、外国の生徒作品として、タイの生徒が描いた『僕の家』が掲載されています。海外の著名な美術作品だけではなく、海外に住む同じ中学生の作品に触れることは、とても大切な、海外の文化について考え、想像力を膨らませたりすることに物すごく深くつながっていくんだなと思います。

本多教育長 ありがとうございます。今、作者の言葉というのがありました。どの会社のものにも載っていますが、非常に参考になると思います。良い資料じゃないかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

進藤委員 各社とも教科書の巻頭で、表現や鑑賞と、美術として学習する内容や学習する際のポイントについてはまとめられています。また、どの出版社も生徒の活動の様子や制作物の写真が多く掲載されていると感じました。

日本文教出版の扉絵を用いて、屏風を実際に折れるよう工夫された題材の紹介や、開隆堂出版の原寸大の資料掲載、光村図書出版の紙質の異なるページで版画についての資料を紹介するなど、生徒の創作意欲が高まる工夫がされていると思います。

日本文教出版は、1年の26ページに、鑑賞との出会いとして、鑑賞する際に意識する点や鑑賞から得られる効果等についても掲載されており、生徒の鑑賞に対する意欲が高まる内容だと感じました。

本多教育長 ありがとうございます。今、鑑賞との出会いというお話がありました。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員 各社とも、オリンピック・パラリンピックに関わる題材、著名人のコラム、美術館の利用など、様々な種類の資料が掲載されていますけれども、掲載されている作品の数は日本文教出版が多いと思います。

また、光村図書出版は、2年、3年の巻末で、江東区の伝統工芸である江戸切子、日本文教出版は、2年、3年の上の31ページで、亀戸天神境内を掲載しています。身近な地域の伝統工芸を通して、日本の美術や伝統に興味を持つことができる点がいいと思います。

本多教育長 ありがとうございます。先ほども出ていますがけれども、教科書に身近なものを、こうやって載せていただくというのは、興味・関心を高めるという意味では効果的かもしれません。

それ以外に、いかがでしょうか。

眞貝委員 安全面の配慮についてですけれども、どの教科書も巻末で、様々な表

現で、用具の使い方について、イラストや写真と併せて示しております。生徒が楽しく造形活動に取り組むためには、安全に関する指導は必須だと考えております。開隆堂出版は1年の58ページ、光村図書出版は1年の64ページ、日本文教出版も1年の64ページに彫刻刀の使い方について、安全への配慮事項を各社とも掲載しておりますけれども、日本文教出版、開隆堂出版は注意マークとともに写真を掲載していて、生徒自身が注意できるように配慮されているように感じました。

文章だけの記載よりも視覚的に理解を深めることができるので、生徒は安全に注意しながら活動できると思います。

本多教育長 ありがとうございます。安全面の配慮について、今、お話を頂いたところです。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 皆さんのこれまでの御意見を伺っておりますと、美術については日本文教出版が適しているのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

生徒の主体的な活動を促すための工夫があること、生徒の興味・関心を高める題材が充実していること、安全面の配慮についての記載が充実していること、以上3つの理由により、日本文教出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、美術については、日本文教出版を採択することと決めます。

続いて、保健体育の協議に入りますので、御準備をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、保健体育の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、保健体育の結果報告書を御覧ください。

教科等、保健体育。

発行者、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいの4社です。

内容の選択。

1点目、東京書籍は、日常の経験などを基にした課題設定がされており、生徒の興味・関心が高まるよう工夫している。

2点目、大日本図書は、知識の定着を図るため、各小單元において、キーワード、学習の振り返りを行い、章末で重要な言葉の再確認ができるようになっている。

3点目、大修館書店は、SDGsや共生社会について取り上げるなど、日常生活や国際社会と学習内容の関わりを示し、保健体育への興味・関心が高まるような構成となっている。

4点目、学研教育みらいは、基礎的・基本的な知識や技能の習得を図るため、実習や外部活動を重視し、実生活との結びつきを感じられるような学習の並びになっている。

そのほか、構成・分量4点、表記・表現4点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮4点となっております。

なお、採択資料作成委員会において話題となりました主な内容は、1点目、学習の進め方について、2点目、生徒の使いやすさについて、3点目、教員の指導のしやすさについて、4点目、江東区に関わることについて、以上でございます。

本 多 教 育 長      ありがとうございます。

それでは、保健体育について御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

鈴 木 委 員      私は生徒が学んだことを実際の生活で生かすことができるような工夫がある教科書がいいと思います。

新学習指導要領で新たに示されたストレスへの対処についての技能の掲載内容を見ますと、各社とも実生活で学習したことを生かすようにできるように、ストレスの原因をつくらないコミュニケーションの取り方やリラクゼーションの方法について記載するなど工夫が見られます。

東京書籍と学研教育みらいは、チェック表などを用いて、生徒が自己の状態を把握しながら学習に取り組むことができるようになっていきます。自分の生活と関連づけて学びを深めることができるので、非常によいと思います。

本 多 教 育 長      ありがとうございます。今、お話しいただいたことは、ストレスへの対処についてですね。新たに設定されたところで、非常に重要な観点です。

ほか、いかがでしょうか。

眞 貝 委 員      大修館書店の55ページのいじめの対処法として書いています。信頼できる大人や専門家に相談することの大切さや相談先についても書かれております。また、学研教育みらいの4ページにも、困ったときの相談先などが示されております。困ったときに相談することはとても大切なことですので、相談する大切さや相談先を把握していくということが、とてもよいことだと思いました。

本多教育長     ありがとうございます。先ほどのストレスのこともありましたけれども、今、委員からお話があった相談ということも、こどもたちの生活とのつながりということで非常に大事なことだと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。

進藤委員     私は生徒が学習を主体的に進めていくために、学習課題が分かりやすく示されている教科書がよいかと思います。

例えば、1年生が体育編として初めて学ぶ運動やスポーツの多様性の課題の提示の仕方を見ますと、大修館書店の6ページでは、生徒のイラストと吹き出しを用い、学研教育みらいの16ページでは、生徒の課題をイメージしやすいようにイラストが添えられています。課題が明確となり、とてもよいのではないかと思います。

本多教育長     ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

橋本委員     今、進藤委員がおっしゃられたように、確かに文字だけで示すよりも、イラストなどがあったほうが、より分かりやすくなるのではないかと思います。

私は各社の章末のまとめを見ていますけれども、大日本図書は章末に重要な言葉というまとめのページがあるんですけど、これは復習するときに生かせそうであり、また、大修館書店と学研教育みらいは学習の振り返りとして、チェックリストを用いた自己評価があります。これは自己評価をして学習を振り返る。その上で確かめよう、生かそうという設問に取り組むようになっているので、生徒にとっては、とても学びやすく、これも主体的に学べる構成になっているのではないかなと思います。

本多教育長     ありがとうございます。今、主体的な学びという視点でお話を頂いていますが、今、お話しいただいた自己評価という辺りも、主体的な学びを進めていく上で非常に重要なかなと思います。

保健の分野について、様々お話を頂いたんですけども、体育分野については、いかがでしょうか。

鈴木委員     スポーツについて確認してみました。1年生で新たに示された運動やスポーツの多様な楽しみ方という単元を見ますと、大修館書店は12、13ページ、学研教育みらいは24ページで、誰もが楽しめるように、ルールや用具など工夫したスポーツを紹介しています。年齢や障害の有無、運動の得意・不得意にかかわらず楽しめるスポーツが示されています。生徒のスポーツに対するイメージを広げて、自分もやってみたいと

いう気持ちにつながるのではないかと思います。こういった資料は生徒のスポーツへの関心、興味を高めることができるのではないかなというふうに思います。

本多教育長 ありがとうございます。運動やスポーツの多様な楽しみ方というお話、それから様々の知らないスポーツの紹介というような話を頂いたところですが、スポーツを生涯にわたって楽しんでいくということは非常に大事なことで、そういった視点からも学ぶということは重要なと思います。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 皆さんのこれまでの御意見を伺っておりますと、保健体育の教科書につきましては、学研教育みらいが適しているのではないかなと思いますが、御意見いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

生徒が学習したことを生活に生かす工夫があること、生徒の主体的な学習を促すため、話題の提示の仕方やまとめに工夫があること、スポーツの多様性や楽しさに関する資料が充実していること、以上、3つの理由により、学研教育みらいを採択したいと思いますが、御異議ございますか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、御異議ございませんので、保健体育につきましては、学研教育みらいを採択することといたします。

続きまして、英語の協議に入りますので、御準備をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、英語の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、外国語（英語）の結果報告書を御覧ください。

教科等、外国語（英語）。

発行者、東京書籍、開隆堂出版、三省堂、教育出版、光村図書出版、新興出版社啓林館の6社でございます。

内容の選択。

1点目、東京書籍は、小・中学校の接続に配慮し、ユニット1から5までは音を中心とした覚えた英語を文字につなげる過程を含んでいる。

2点目、開隆堂出版は、小学校英語からの接続として、Get ReadyとProgramゼロを設け、小学校で学んだ内容を丁寧に確認できるように配慮されている。

3点目、三省堂は、言語材料を身につけるGetと、言語活動に取り組むUseが配置されており、生徒が基礎・基本的な学習活動を行えるように配

置している。

4点目、教育出版は、1年の巻頭にスプリングボード1から4として設けられており、小学校から中学校への学びがスムーズにできるように工夫されている。

5点目、光村図書出版は、1年生巻頭のLet's be friendsでは、小学校で学習したことを中学校の学びへつなげる内容となっている。

6点目、新興出版社啓林館は、小学校の復習、レッツスタートを設定し、小学校からの学習がスムーズにつながるように配置している。

そのほか、構成・分量6点、表記・表現7点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮1点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、英語スタンダードについて、2点目、生徒の使いやすさについて、3点目、教員の指導のしやすさについて、4点目、英語の指導内容についてなどとなっております。

本 多 教 育 長      ありがとうございます。

それでは、英語について御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

眞 貝 委 員      今年度から小学校で英語を教科として指導するようになりました。中学校の英語で学習内容が変更になった点を改めて確認したいと思いますので、事務局から御説明をお願いいたします。

伊 藤 指 導 室 長      新学習指導要領における外国語の主な内容としては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り）と（発表）」、「書くこと」の4技能5領域について学ぶこととなります。特にやり取りについては、新たに設定された領域となります。

本 多 教 育 長      「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り）と（発表）」、そして「書くこと」の4技能5領域というふうな説明を頂きました。いかがでしょうか。

眞 貝 委 員      室長、ありがとうございました。

やり取りが新設された内容ということですがけれども、小学校で学んできたことを生徒が中学校でしっかり発揮できますように、小・中学校の接続が大切だと思っております。

本 多 教 育 長      ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

進藤委員 今、眞貝委員からやり取りということがありました。これは学びの接続についてでございますけれども、その点では各社ともに巻頭のページに学びの接続を大切にされた内容が記載されております。

東京書籍1年生の教科書の4ページ、5ページには、Welcome to junior high schoolというページがございます。小学校で学習した英語の表現を使って復習できるような形になっています。

また、啓林館1年生の14ページ、15ページでは、アルファベットが明記されていて、小学校で聞くこと、話すことを中心に学んだ文字につなげる工夫がされています。新設されたやり取りについてですが、生徒がどんなことを学習するかイメージできるのがいいと思います。

三省堂の1年生、16ページ、17ページを見ていただけますでしょうか。初めて英語の授業を想定して、右側のページでは、2人の生徒が向き合って自己紹介をするような形になっています。吹き出しに英会話の例文が書かれていて、実際にやり取りするイメージを持って、生徒は分かりやすく学べるのではないかなと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、お話にありましたように、小学校でも教科になって英語はやっていますので、こどもたちは、しっかりと力をつけて、中学校に入ってきます。そういった部分では、小学校と中学校の接続ということが非常に重要になっていくかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員 私は、生徒と教師が見通しを持って学習を進められるかどうかという点で、教科書それぞれに注目してはございますけれども、先生にとっても指導する上で授業の流れが分かりやすいことが大切だと思っております。

光村図書出版2年の31ページのユニット3を御覧ください。最初のページで、この単元の話の大筋をつかみ、見通しが持てるようになっています。Part 1から3で詳しく内容を学んで、学んだことをゴールで確かめるようになっています。

次に、教育出版2年の68ページ、見ていただけますか。こちらは学習を始める前にゴールとして目標を提示して、何を学習するか見通しを持てるようにしています。

さらに、三省堂1年の69ページ、レッスン4を見ますと、ページの下段に学習の流れが示されています。ゲットで文法などを習得して、ユースで学んだことを活用するページ構成になっています。このように学びのプロセスが見える化されているのは、生徒にとっても先生にとっても見通しを持って学習を進める上で大変によいのではないかなと思います。

本多教育長 ありがとうございます。見通し、非常に重要だと思います。  
ほか、いかがでしょうか。

進藤委員 私は英語スタンダードの「英語で道案内をします」という項目について見比べてみました。

開隆堂出版の1年の76ページでは、駅ビルの場面での道案内が掲載され、生徒が対話を読みながら練習できるようになっております。

東京書籍2年の81ページでは、電車の乗換えをする場面、それとあと光村図書出版2年の60ページでは、観光地での場面、三省堂3年の63ページでは、空港での道順の尋ね方などが掲載されています。各社ともに英語スタンダードの内容が示されていて、生徒たちは確実に学習できるようになっていると思います。

本多教育長 ありがとうございます。英語スタンダードについてのお話を頂きました。英語で道案内をするという部分について、力を入れて取り組んでいただいているところですが、活用ができるということが非常に重要なと思います。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員 英語スタンダードの課題についてですと、中学校では、外国人講師を活用した授業がございます。特にやり取りの学習では、ネイティブな発音をお手本にして学習することが有効だと思います。

資料3の教科書調査研究資料を見ますと、発行者ごとに、聞くこと、読むことなどの5つの領域別に設定している活動の数が分かります。話すことのやり取りの領域の割合が20%以上の発行者が開隆堂出版、啓林館、三省堂の3社があり、重視していることがよく分かります。

特に三省堂は3年の32、33ページにありますように、プロジェクトのページを設定して、5領域について学びを深められるようになっています。生徒は5つの領域について総合的に学ぶこととなりますけれども、話すことのやり取りについては、英語スタンダードから見ても大切にしたい領域ですから、三省堂の教科書の内容は非常によいのではないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。  
ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 皆さんのこれまでの御意見を伺っておりますと、外国語(英語)につきましては、三省堂が適しているのではないかと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理します。

生徒が学びやすい教科書の構成になっていること、生徒も教師も見通しを持って学習を進められること、英語スタンダードの確実な定着が図られること、以上3つの理由から、三省堂を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、外国語(英語)については三省堂を採択することといたします。

次に、特別の教科道徳に入りますので、御準備をお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、特別の教科道徳の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、資料2、特別の教科道徳の結果報告書を御覧ください。

教科等、特別の教科道徳。

発行者、東京書籍、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、学研教育みらい、廣済堂あかつき、日本教科書の7社でございます。

内容の選択。

1点目、東京書籍は、各教材の最後に、考えよう、自分を見つめようとして、発問例が2つ記載されている。

2点目、教育出版は、身近な生活場面での出来事を題材にした教材や内容が把握しやすい短めの教材を取り入れ、全員が話し合いに参加しやすいようにしている。

3点目、光村図書出版は、約半数の教材が中学生の生活を題材にしている。また、小学校の定番教材を各学年に1つ掲載している。

4点目、日本文教出版は、いじめなど重要なテーマを複数の教材やコラムをユニット化して配置し、発達段階を考慮し、1年間の流れを重視し配列している。

5点目、学研教育みらいは、歴史上の人物や事件の話、身の回りに起こり得る身近な話が掲載されている。

6点目、廣済堂あかつきは、各教材の最終ページに様々な人物の名言が掲載されている。

7点目、日本教科書は、各教材に、考える、話し合ってみよう、そして深めようという、生徒が教材について考える発問が用意されている。

そのほか、構成・分量7点、表記・表現8点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮2点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、道徳のノートについて、2点目、生徒の使いやすさについて、3点目、教員の指導のしやすさについて、4点目、学習の進め方についてなどとなっております。

- 本多教育長     ありがとうございます。  
                  それでは、特別の教科道徳について御協議いただきたいと思  
                  います。  
                  いかがでしょうか。
- 進藤委員     前回の採択から2年ということですが、各社の教科書の変更点などは  
                  いかがでしょうか。
- 伊藤指導室長    前回と比べますと、発行者が8社から7社となっております。  
                  別冊ノートの取扱いにつきましては、前回の採択時と同じ2社となっ  
                  ております。扱う教材や掲載する教材の順番を変えるなどをしてい  
                  る状況となっております。また、教員の発問例などについても変更している  
                  ものがあります。
- 本多教育長     よろしいですか。
- 進藤委員     分かりました。ありがとうございます。
- 本多教育長     それでは、ほかにいかがでしょうか。
- 橋本委員     道徳は結構難しい教科書なんですけど、生徒の目線から見ると、自分な  
                  らどうなんだろうかと考えたり、友達はどんな印象を持っているんだろ  
                  うかということを考えたり、必要感を持って話し合える教材が非常に豊  
                  富に掲載されていることが大切ではないかなと思っています。  
                  また、学習の進め方が分かりやすく示されていること、生徒が主体的  
                  に学ぶ。その主体的に学ぶことがとても大切なので、道徳は、それが一  
                  番と考えております。
- 本多教育長     ありがとうございます。主体的に学ぶことについてお話しいただきま  
                  した。  
                  ほか、いかがでしょうか。
- 鈴木委員     今、橋本委員からお話ありました学習の進め方という視点で教科書を見  
                  ますと、巻頭に学習の進め方などが示されています。  
                  光村図書出版は、何で学ぶの、どうやって学ぶのなど、生徒の目線で  
                  説明していて、日本教科書は、多様な考えを知るためにという欄を設け  
                  て、学ぶときのポイントを示されているのがいいと思います。
- 本多教育長     ありがとうございます。  
                  ほか、いかがでしょうか。

眞 貝 委 員 各発行者の目次を見ますと、東京書籍、教育出版、光村図書出版、日本文教出版は、いじめなどに関わる教材が一目で分かるように色枠を使ったり、複数の教材をユニットとして扱ったりする上での工夫が見られます。

学研教育みらいは、地球と地域の未来のために、夢に向かって共に輝くというテーマで示しております。生徒にとっては、どんなことを学んでいくのか、見通しを持って学べるというよさがあると思えました。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。見通し、そして学習の進め方という視点でお話をいただけたと思います。

ほかにはいかがでしょうか。

進 藤 委 員 私は先生方が指導しやすい教科書というのが最も大切だと思います。例えば、先生が生徒に問いかける発問例が分かりやすく示されていることが重要だと思います。

日本文教出版は、教材文の最後に、考えてみようとして発問例を示し、自分にプラスワンで、自分のことについて考える発問例があるのがいいです。

学研教育みらいには、考えようという発問例が掲載されていて、さらにクローズアッププラスという教材に関連する読み物資料があり、生徒は考えを深めることができるようになっている点が非常によいかと思います。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。発問例について、今、お話しいただきました。

ほか、いかがでしょうか。

橋 本 委 員 先生方の指導のしやすさ、これ一番大切だと思うんですが、東京書籍の巻末に、心の割合を見えるようにした円グラフ、心情円というものがあるんですが、これはかなり目で見て分かるというやり方だと思うんですが、生徒が友達と話し合う中で使用するのではないかなと思われませんが、言葉ではとても表しにくい微妙な気持ちとか、そういうものを、この心情円で表現できそうだと思います。

先生方が授業をする中で、生徒の心情の変化を見て取ることができると思います。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。生徒が学びやすい、そして教師が指導しやすいというような視点で、今、お話を頂いているところでありますが、ほかの視点でも構いません。いかがでしょうか。

眞 貝 委 員 いじめや情報モラルなど、各社、現代的な問題について、どのように扱っているのかという視点も大切だと思います。

もちろん、生徒にとっても切実なテーマだと思いますが、教育出版3年生の32ページを見ますと、こどもたちが笑顔で手をつなぐ写真など、いじめに立ち向かうというメッセージが示されております。いじめについて考えようという生徒の意欲を引き出せると感じました。

また、日本文教出版3年生の34ページを見ますと、プラットフォームという欄があり、いじめとともに情報モラルについても考えられる構成となっております。SNSなどを通したいじめについて、しっかりと学ぶことができると思います。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。SNSを通して、今、そういう問題になっていると思いますけれども、ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴 木 委 員 いじめとモラルの課題について、今、眞貝委員からもお話があったんですけれども、日本文教出版の1年生の34、35ページにプラットフォームという欄があります。いじめられている生徒、いじている生徒、面白がって見ている生徒、見ていないふりをする生徒、いじめを止めようとする生徒など、いじめの構造として示しています。1年生の段階で構造的にいじめについて捉えることは、いじめについての理解を深めることができ、とてもいいことではないかというふうに思います。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。今、いじめ、それから情報モラルというような部分での現代的な課題についての御意見を頂いているところでありますけれども、ほかの視点でも結構です。いかがでしょうか。

進 藤 委 員 前回の採択の理由の1つに、別冊ノートがあるということが挙げられていましたが、実際に学校からの声などは現在どうでしょうか。教えてください。

伊 藤 指 導 室 長 別冊ノートは、生徒が考え議論したことを書き留めることができているという声があります。また、生徒が気づいたことや考えたことを先生方がしっかりと把握し、生徒一人一人の成長を見取ることに役立つということなども伺っております。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。

進 藤 委 員 はい。ありがとうございます。

本多教育長 ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員 今、指導室長から、学校から別冊ノートよさが伝えられたということでもありますけれども、別冊ノートは日本文教出版と廣濟堂あかつきにあります。

日本文教出版の別冊ノートは、発問に対応して、自分の考えや気持ちを書くことができるようになっています。廣濟堂あかつきの別冊ノートは、学習の記録として、自分の感想などを記述できるようになっています。各社とも学びの足跡をノートに残せる点ではよろしいのではないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。様々な視点から御意見頂いているところでもありますけれども、ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 これまでの皆さんの御意見を伺っておりますと、特別の教科道德については日本文教出版が適しているのではないかと思いますけれども、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

生徒が学びやすく、教師が指導しやすい工夫があること、いじめや情報モラルなど、現代的な課題についての内容が充実していること、別冊になっているノートが効果的なこと、以上3つの理由により、日本文教出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、特別の教科道德については、日本文教出版を採択することといたします。

以上で本日予定しておりました教科・分野の教科書についての協議は終了いたしました。

ここで、改めて本日の協議で採択を決定した教科用図書について、教科・分野名、発行者名を確認させていただきます。

国語、光村図書出版、書写、光村図書出版、社会（地理的分野）、帝国書院、地図、帝国書院、美術、日本文教出版、保健体育、学研教育みらい、外国語（英語）、三省堂、特別の教科道德、日本文教出版。

以上、各教科用図書の採択結果について確認をさせていただきました。ただいまの各教科の採択結果について、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、本日御協議いただいた教科用図書について、ただいま確認させていただいたように決定いたします。

次回は、社会（歴史）、社会（公民）、数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、技術家庭（技術分野）、技術家庭（家庭分野）の5

教科8分野について御協議いただき、採択してまいります。

以上で中学校教科用図書採択に係る傍聴案件の審議が終了いたしましたので、本案件のみの傍聴を希望された傍聴人の方は、事務局の職員が御案内いたしますので、御退室願います。

なお、中学校教科用図書採択以外の案件についても傍聴される方は引き続き傍聴していただいて結構でございます。

(傍聴人退室)

本多教育長 それでは、これより報告事項に入ります。

報告事項1、令和3年度新1・7年生の学校選択制度の取り扱いについてを事務局より説明願います。

大町学務課長 それでは、恐れ入りますが、資料9を御覧願います。令和3年度新1・7年生の学校選択制度の取り扱いについて御説明いたします。

まず、1の対象者は、令和3年度に新1・7年生として区立小・中学校、義務教育学校に入学する予定の区内在住者となります。

2の選択範囲については、小学校及び義務教育学校前期課程は徒歩で通える学校から、中学校及び義務教育学校後期課程は区内全域の中学校等から選択することが可能となっております。

3の手続ですが、(1)のとおり、学校選択希望票を9月18日に発送した後、(3)学校選択希望票の提出期限を11月6日、(5)学校選択希望の変更期間を11月16日から20日として希望の受け付けを行う予定としております。その結果、希望者が受入可能な人数を超えた学校については公開抽選により入学者を決定することとしており、その取り扱いを4に記載をしております。

2ページをお願いいたします。

(2)に記載のとおり、抽選の有無を11月27日に公表した後、実際の公開抽選につきましては、(4)のとおり、小学校及び義務教育学校前期課程は12月8日、中学校及び義務教育学校後期課程は12月9日に行います。

なお、(5)には抽選の特例として記載をしておりますが、これらにつきましては昨年度と変更はございません。

次に、5の補欠者の取り扱いですけれども、(3)の最終繰上結果の公表については、小学校等が1月21日、中学校等が2月19日となっております。

3ページを御覧ください。

7の学校情報の提供ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年9月から11月にかけて行っております学校公開を中止としておりますので、その旨を記載しております。

恐れ入りますが、その他の項目につきましては、おおむね例年と同内容となっておりますので、後ほど御参照願います。

私からの説明は以上でございます。

本多教育長 本件について質疑願います。

今、学校情報の提供のところについて学務課長からも説明ありましたが、今年度、学校公開できないというところで、保護者の方々に適切に情報を公開していくという部分については非常に重要になってくると思いますので、事務局、その辺のところでは何か工夫していることありますでしょうか。

伊藤指導室長 今回は学校公開できないということで、学校の様子を直接見ることができないということは、確かに保護者にとっては情報が少なくなってしまうという結果になってしまうかと思っております。

その中で、例えば、ホームページ等でできるだけ学校の様子を伝えたりですとか、あるいは、学校だよりなどで、学校で取り組んでいる様子、こういう考え方で教育を進めているというような方針を出していく。あるいはホームページの中に、特設のページを作るなどして、新入生になる皆さんに情報を提供するなど、様々な工夫をしていきたいと考えているところです。

本多教育長 ありがとうございます。とても大切なことなので、各学校に教育委員会のほうからもしっかり働きかけをして、準備を進めていければと思っております。

ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 では、本報告を終了いたします。

次に、報告事項2、令和3年度新1・7年生の学校選択制度に伴う受入れ予定人数についてを事務局より説明願います。

大町学務課長 それでは、資料10を御覧ください。令和3年度新1・7年生の学校選択制度に伴う受入れ予定人数について、御説明をいたします。

資料の1ページ目が、小学校及び義務教育学校前期課程、2ページが、中学校及び義務教育学校後期課程となっております。それぞれの表には、学校名、基準学級数のほか、通学区域外からの受入れ予定人数をアルファベットで表示をしております。

まず、基準学級数ですが、こちらは本年5月1日現在の通学区域内の児童・生徒数、これまでの通学区域内での入学率、今年度の学級数、そして学校施設の収容能力などを踏まえまして、学務課で案を作成し、各学校との協議の上、設定をしているものです。

また、通学区域外受入れ予定人数は、基準学級数を基に受け入れられる児童・生徒数から入学が予想される区域外児童・生徒数などを控除し、

通学区域外から学校選択によって受け入れられる児童・生徒数のおおよその範囲をアルファベットで表示をしたものです。アルファベットの区分による受入れ人数の目安は表の下に記載をしております。

また、表の左の欄外に黒の星印のついている明治小など8校につきましては、マンション急増等によって、前年度に引き続き通学区域外からの受入れを行わないこととしております。ただし、受入れを行わない学校におきましても、特例といたしまして、現在通学している兄や姉が令和3年度も在学する場合や、在学期間中に希望校の通学区域内への転居が確実な場合につきましては、学校選択を認めることとしております。

2ページの中学校及び義務教育学校後期課程につきましては、前年度と同様に、通学区域外からの受入れはできないという学校はございません。

私からの説明は以上でございます。

本多教育長 本件について質疑願います。  
よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、本報告を終了いたします。  
次に、報告事項3、令和3年度区立幼稚園の園児募集についてを事務局より説明願います。

大町学務課長 それでは、資料11を御覧願います。令和3年4月に区立幼稚園に入園いたします4歳児と3歳児の募集について御説明をいたします。

まず、1の園児募集人数一覧のうち、上段から中段にかけての4歳児につきましては、今年度の入園児数や来年4歳となるお子さんの他の施設等への通園状況も踏まえまして、募集定員を18園で600名といたしました。

なお、2番の南陽幼稚園、6番の豊洲幼稚園につきましては、今年度より3歳児保育を実施していることから、4歳児につきましては、それぞれ受入定員の増分のみの募集となっております。

また、今回、表に掲載のないもみじ幼稚園と小名木川幼稚園につきましては、令和3年度末での廃園を予定していることから、園児募集を行いません。

続きまして、下段の3歳児につきましては、募集定員を2園で120名、豊洲幼稚園において、昨年度より1クラス20名の増としております。

続きまして、2の申込資格は記載のとおりでございます。

3の園児募集日程につきましては、おおむね昨年度と同様ですが、まず10月1日発行の区報に周知の記事を掲載するほか、区の広報板等にポスターを掲出いたします。

10月15日から11月6日までの間に、区役所及び各幼稚園で申込書を配付し、11月4日から6日までの3日間、各幼稚園で申込みの受け付けを行います。

申込みが各園の募集定員を上回った場合には、11月13日に抽選を行う園を発表し、17日に公開抽選を行います。

なお、昨年度は南陽幼稚園の4歳児と3歳児、そして豊洲幼稚園の3歳児で抽選を行いました。抽選の結果につきましては、各幼稚園に掲出するほか、申込者に通知し、併せて健康診断の日時もお知らせいたします。

園児募集についての説明は以上でございます。

本多教育長 本件について質疑願います。

進藤委員 3歳児保育に関する件なのですが、南陽と豊洲なんですけど、これから、今後の展開としましては、どのように増やしていくのか、その辺の方針なりがありましたら、聞かせていただきたいと思います。

大町学務課長 3歳児保育へのニーズが非常に高いことについては十分認識をしております。しかしながら、園児数が毎年100人程度ずつ、推定の倍ぐらのスピードで減少している状況を鑑みますと、単に3歳児園を拡大するのではなくて、併せてさらなる設置、指定、廃止等も慎重に検討していくべきと考えております。

今年度より開始をしております3歳児、預かり保育の状況を見ながら、また、今年度の募集状況をつぶさに見ながら、幼稚園の在り方について検討を続けてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

本多教育長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。

進藤委員 分かりました。ありがとうございます。

鈴木委員 もみじ幼稚園と小名木川幼稚園が令和3年度末で廃園を予定しているとなっていますけど、その後の活用というのは、何か予定があるのか、お聞きしたいです。

大町学務課長 小名木川幼稚園ともみじ幼稚園で、実際、施設の状況が異なりまして、まず、小名木川幼稚園については学校の敷地内ということでございます。もみじ幼稚園については単独でございますけれども、それぞれの活用方法につきましては、まず教育委員会の中で協議した後、教育委員会で活用しないということでしたら、庁内の他部署、跡地を検討する組織のほ

うに任せたいというふうに考えております。

以上でございます。

本多教育長 よろしいでしょうか。

鈴木委員 現時点では、教育委員会で活用するかどうかも含めて、まだ未定ということですか。

大町学務課長 はい。跡地等につきまして、教育委員会の中で、なるべく早めにコンセンサスを得るように検討してまいりたいと思います。

以上でございます。

本多教育長 よろしいでしょうか。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 幼稚園の在り方については、今、各委員からも御意見頂きましたけれども、当然、ニーズに合わせてというところもございます。また、公立幼稚園のよさというところもあります。そういったことを総合的に考えて、今後の在り方については、皆さんの御意見を頂きながら、適正に進めていきたいと考えております。よろしく願いいたします。

それでは、本件について終了といたします。

以上で傍聴案件の審議が終了いたしましたので、傍聴人の方は事務局の指示に従い、御退室願います。ありがとうございます。

(傍聴人退室)

本多教育長 それでは、以上をもちまして、令和2年第7回江東区教育委員会臨時会を閉会いたします。ありがとうございました。